

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-142631

(P2010-142631A)

(43) 公開日 平成22年7月1日(2010.7.1)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 2 6 B 19/44 (2006.01)	B 2 6 B 19/44	3 C 0 5 6
A 4 5 D 24/32 (2006.01)	B 2 6 B 19/44	B
	A 4 5 D 24/32	

審査請求 未請求 請求項の数 6 書面 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2008-336196 (P2008-336196)	(71) 出願人	597105924
(22) 出願日	平成20年12月22日 (2008.12.22)		小池 栄
			茨城県桜川市友部2 1 9 番地
		(72) 発明者	小池 栄
			茨城県桜川市大字友部2 1 9 番地
		Fターム(参考)	3C056 LL05 LL09 LL25

(54) 【発明の名称】 吸引式毛切断装置及びその装置に用いるアタッチメント

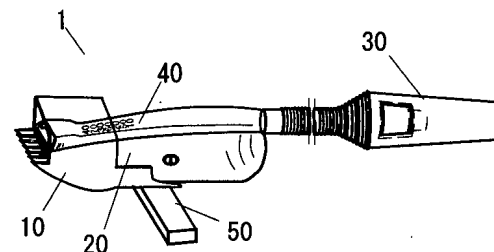
(57) 【要約】

【課題】従来の動力付バリカンでは毛を十分に吸い込めな
いため切った毛屑を散乱してしまうもの、吸引力の強い
電気掃除機を使うと吸引機に負担がかかるものや自分の
髪の毛を容易に刈れないものである。

【解決手段】動力付のバリカンなど切断刃の毛を切断す
ると毛が落ちる側にラップ状に開口した毛屑吸引管を装
着し毛屑が散乱しないようにした。さらに吸引管を装着
する設置面が少ないときや急斜面のときは、毛屑吸引管
を吸引部と吸引パイプを分けて取り外しができ、吸引部
の吸引ヘッド部が上下に動き着脱可能にした。

また、吸引機の負荷を軽減できるため吸引力を調整す
る吸引力調整付継手を付け、補助グリップを装着するこ
とで、後頭部などの刈りづらい所も簡単に切れるように
した。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

切断具本体に、毛導入口を有する吸引管と毛を切断する長さ調節付きの毛を導く櫛状の透きとおった毛吸引誘導付刈り高調節具と毛導入口からの吸引量を調整する風力調整装置と切断具本体または、毛吸引誘導付刈り高調節具などのアタッチメントに交差して板あるいは棒状の部材を装着した、吸引式毛切断装置及びその装置に用いるアタッチメント。

【請求項 2】

動力付バリカン、手動のバリカン及びはさみの切断刃が毛を切断すると毛が落ちる側に装着した毛導入口をラップ状に開口した毛屑吸引管。

【請求項 3】

動力付バリカンの切断刃が毛を切断すると毛が落ちる側に吸引部の奥行を小さくし、吸引ヘッド部が上下に動く着脱可能な毛屑吸引管。

【請求項 4】

切断具本体に毛を起こすとともに毛の切断長さを調節し、毛を導く吸引誘導カバーを有する櫛状の毛吸引誘導付刈り高調節具。

【請求項 5】

切断具本体または、アタッチメントに交差して片手または両手で持つことが可能な板状あるいは棒状の部材を装着した補助グリップ。

【請求項 6】

電機掃除機の風力の強弱により弁が開閉し空気導入口からの空気の量を一定に調節する吸引力調整具と毛導入口より断面積を小さくしたホース部と接続継手からなる吸引力調整付継手。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、電動バリカンなどの動力付バリカンや手動式バリカンおよびハサミで切った毛を吸引してカットし易くするとともに、カットした毛屑の飛散防止と毛切断装置の操作性を良くした吸引式毛切断装置及びその装置に用いるアタッチメントに関するものである。

【背景技術】

【0002】

本発明の従来例としては、電動のバリカン等の切断部に吸引筒を取り付けて毛を吸引して切断する装置や手動式バリカンおよびハサミがある。

【0003】

【特許文献 1】 特許第 3508124 号公報

【特許文献 1】 特開 2007-167219 公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

特許第 3508124 号公報は、毛を吸引して切断することは同じであるが、
(イ) 切るところが見づらく吸引口の入り口が平行のため切った毛屑が吸引されないで散乱するという欠点があった。

(ロ) 毛の切断長さを調節する櫛羽が長い切断長さで毛を起こし吸引してもその毛を十分に吸引ができないという欠点があった。

(ハ) 電気掃除機など吸引機により吸引力が違いためエアーを吸い込むところの大きさが一定の吸引面積からの吸い込みのため、吸引力が強いときには、吸引量が少なくなり吸引機に負担がかかり故障の原因となるという欠点があった。

(ニ) 自分で自分の毛を切断するとき、後頭部や襟足などが上手に切断できないときは、他の人に頼んで切ってもらうことになる。

(ホ) 吸引管は固定されているので別の切断具には使用ができない。

10

20

30

40

50

(ヘ) 切断具と掃除機を繋ぐホースが太いため使い勝手が悪いという欠点があった。

特開 2007-167219 号公報は、毛を吸引して切断することは同じであるが、

(イ) 内蔵されている毛を吸引する装置では吸引力が少ないため、毛屑が飛散していた。

(ロ) 毛の切断長さを調節する櫛羽が長い切断長さにしたと毛を起こすこととその毛を吸引することができない。

(ハ) 自分で自分の毛を切断するとき、後頭部や襟足などが上手に切断できないときは、他の人に頼んで切ってもらうことになる。

(ニ) 吸引管は固定されているので別の切断具には使用ができない。

吸引管が固定されているため別の切断刃には使用できないという欠点があった。

一般的に使用している手動式バリカンやはさみで毛を切るとそのまま落ちてしまい毛屑を処理しなければならないという欠点があった。

10

【0005】

本発明は、このような問題点を解消するためになされたものであり、性能と操作性の良い吸引式毛切断装置及びその装置に用いるアタッチメントの提供を目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記不具合を解決するために、切断具本体に毛導入口を有する吸引管と毛を切断する長さ調節付きの毛を導く櫛状の透きとおった毛吸引誘導付刈り高調節具と毛導入口からの吸引量を調整する風力調整装置と切断具本体または、毛吸引誘導付刈り高調節具などのアタッチメントに交差して板あるいは棒状の部材を装着した、吸引式毛切断装置及びその装置に用いるアタッチメントとした。

20

また、毛屑吸引管は、動力付バリカンの切断刃で毛を切断すると毛が落ちる側に装着した毛導入口をラップ状に開口した。

また、毛屑吸引管を動力付バリカンの切断刃で毛を切断すると毛が落ちる側に吸引部の設置面が少ないところや急斜面のところでも設置可能にした、毛屑吸引管を吸引部と吸引パイプに分けて取り外しができて、吸引部の吸引ヘッド部が上下に動き、設置面を小さくし固定あるいは着脱可能なものとした。

【0007】

同様に動力付のバリカンや手動のバリカンやはさみの切断刃固定部の設置面が少ないときは、毛屑吸引管を吸引部と吸引パイプを分け、吸引部の吸引ヘッド部の奥行きを短くし吸引管のヘッドが上下に動く固定部の設置面が少ないものとした。

30

【0008】

毛を起こすとともに毛を切断する長さを調節し、毛を導く透きとおった櫛状のアタッチメントに吸引誘導カバーを設置した毛吸引誘導付刈り高調節具とした。

【0009】

各電動掃除機により異なる吸引力により空気導入口からの吸引量や吸引力を調整する風力を調整する装置を付けた。

【0010】

切断具本体または毛吸引誘導付刈り高調節具などのアタッチメントに交差して板状あるいは棒状の部材を装着したものとした。

40

【0011】

手動のバリカンやはさみは、毛を切断すると毛が落ちる側に装着した。

【0012】

切断具と掃除機のホースを繋ぐホース部を細くした。

【発明の効果】

【0013】

毛吸引誘導付刈り高調節具は、切断具本体に、カットする毛を起こすとともに毛の切断長さを調節し、調節した毛の刈り高をその毛を刈る高さの寸法を見て確認ができ、櫛状のアタッチメントが毛を起こして整列させる毛を有効に導く透きとおった吸引カバーが付いた毛吸引誘導付刈り高調節具により毛が効率よく導かれることにより、安心して簡単に望

50

む長さに切断できるようになった。

【0014】

毛屑吸引管を一端がラッパ状に開口していることにより、切った毛を有効に吸引するために、切った毛を収集しやすくなり効果的に空気と一緒に毛導入口から毛を吸引しバリカンなどがカットした毛屑は、外に散乱することなく毛屑吸引管をとおり掃除機の集じん部へ集積され毛屑を処理する手間が省けるとともに衛生的にもなった。

【0015】

毛屑吸引管を吸引部と吸引パイプを分け、吸引部の吸引ヘッド部の奥行を短くし吸引管のヘッドが上下に動き角度が調整でき、固定部の設置面が少ないので、切断具で切断した毛屑を設置場所が狭小や急斜面であっても設置が可能な毛屑導入口を有する毛屑吸引管を使用することで、あらゆる切断具にも取付けて毛屑の吸引ができるようになった。

10

【0016】

手動のバリカンやはさみに装着して毛を切断すると切断した毛屑はそのまま吸引処理されるので毛屑を処理する手間が省けるとともに衛生的になった。

【0017】

吸引力調整付継手のホース部が細くなったため切断具を動かして散髪をしても使いやすくなり操作性がよかった。

【0018】

毛屑吸引管の吸引部と吸引パイプを分け、吸引部の吸引ヘッド部の奥行を短くして、上下に動いて角度を調整ができるため各切断具により切られた毛を吸引するために装着する場所が狭小や急斜面のところでも設置可能になり、別の殆どの切断具にも取付けて使用できるようになった。

20

【0019】

吸引力調整具により風力の強弱により弁が開閉し毛導入口からの空気の量を一定に調節する風力調整装置により、吸引力が調整できるため掃除機に負担がかからなくなり、吸引力が強い大型のクリーナーでも負担がかからなくなった。

【0020】

切断具本体または吸引誘導付毛切断調節具などのアタッチメント等に交差して板状あるいは棒状の部材を装着し片手または両手で持って操作することにより、刈りづらいところも簡単にカットができ、自分で自分の散髪が容易にできるようになった。

30

【発明を実施するための最良の形態】

【0021】

以下、本発明を実施するための最良の形態について説明する。

【0022】

本発明の吸引式毛切断装置1は、切断する毛の長さを設定するための毛吸引誘導付刈り高調節具10と、この調節具10を着脱可能な状態で配設した切断具20と、この切断具20と図1で示す掃除機のホース60との間を接続するための継手30との空気導入口41から毛を吸引し毛屑を継手30へと排出する吸引管40と、後頭部などの毛髪を刈り安くする補助ハンドル50からなり、掃除機のホース60に取り付けて使用する。さらに毛吸引誘導付刈り高調節具10と切断具20と継手30と吸引管40及び補助ハンドル50について、更に説明する。

40

【0023】

毛吸引誘導付刈り高調節具10は、毛を起こして吸引しやすいようした櫛部11に筒状の吸引誘導付カバー12が吸引する毛を誘導し吸引力を低下させないようにしたもので、本体に取り付け、スライドさせて移動し切断する髪の長さを設定するものである。また、この調整具を削除しても使用は可能である。

【0024】

吸引力調整付継手30は吸引風力調整具32を有する接続継手33とホース部31からなり、接続継手33に吸引力が強いときに直接外気を取り入れて風量調整弁32を設け、掃除機の吸引力の強弱に合わせ開閉するものである。

50

【0025】

吸引管40は切断具20の毛導入口41から毛を吸い込みバリカン21で切られた毛屑71が吸引方向44をとおり掃除機のホース60から集じん部に送られる筒状のものである。

また、毛屑吸引管40を動力付バリカンの切断刃21で毛70を切断すると毛が落ちる側に吸引部45の設置面が少ないところや急斜面のときは、吸引部45の吸引ヘッド部45aを吸引部の吸引ヘッド部を上下して調節して設置する。

【0026】

補助ハンドル50は襟足や後頭部などが切りづらいため、板状のものを切断具20または毛吸引誘導付刈り高調節具10の取付部52aと52bから取り付けただけのもので、このハンドルを片手あるいは両手で握って操作するものである。

10

【0027】

(実施の形態1)

〔図5〕(a)で示すように、吸引具の毛を切断すると毛が落ちる側の設置面が平らなときに使用する実施例を示す側面図である。

【0028】

(実施の形態2)

〔図5〕(b)で示すように、吸引具の毛を切断すると毛が落ちる側が狭いときや急斜面のときに吸引部の吸引ヘッド部を上下させて調節し使用する実施例を示す側面図である。バリカンが定まっているとき使用の本発明ので

20

以上のように、本実施形態によればカットしようとする毛を櫛状のアタッチメントで起こし効率よく吸引誘導しカットして、その毛屑を飛散することなく毛屑導入口から毛屑吸引管をとおり集じん部に集積する。また実施の形態2では吸引管のヘッドが上下に動き角度が調整でき、固定部の設置面が少ないので、毛をバリカンで切断した毛屑を設置場所が狭小や急斜面对応であっても設置が可能な毛屑導入口を有する毛屑吸引管を使用することで、殆どのバリカンやはさみで切った毛屑の吸引ができるようになり掃除の手間が省ける。さらに吸引調整具を設置したことで吸引率の違う掃除機を使用しても安定した吸引力で安心してカットができることや、透きとおった毛吸引誘導付刈り高調節具及び補助ハンドルを装着することで、刈りづらいところも容易にできるようになり操作性、便利性が良く頭髮のカットが家庭で自分ひとりでも簡単にできるものとなり十分効果が得られるものである。

30

【図面の簡単な説明】

【0029】

【図1】本発明の分解斜視図

【図2】本発明の斜視図

【図3】本発明の実施例の図

【図4】本発明の実施の形態である要部を示す詳細図

【図5】(a)本発明の実施の形態1のアタッチメントの設置の構造を示す側面図 (b)本発明の実施の形態2のアタッチメントの設置の構造を示す側面図

【図6】本発明の断面図

40

【図7】図6におけるA-A線断面図

【図8】図6におけるB-B線断面図

【図9】本発明の吸引風力調整具の断面図

【図10】(a)本発明の毛吸引誘導付刈り高調節具の断面図 (b)本発明の毛吸引誘導付刈り高調節具の平面図 (c)本発明の毛吸引誘導付刈り高調節具の側面図

【図11】本発明の補助グリップの斜視図

【図12】(a)本発明の毛屑吸引管の斜視図 (b)本発明の毛屑吸引管の平面図

【図13】(a)本発明の分離毛屑吸引管の斜視図 (b)本発明の毛屑吸引管が分離した斜視図 (c)本発明の毛屑吸引管が分離した平面図 (d)本発明の毛屑吸引管が分離した断面図 (e)本発明の毛屑吸引管が分離し、吸引ヘッド部を曲げた断面図。

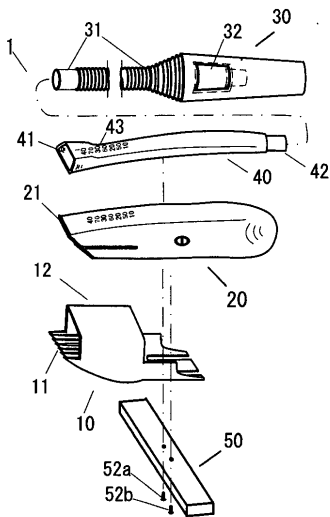
50

【符号の説明】

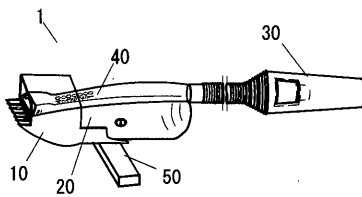
【0030】

1	吸引式毛切断装置	
1 0	毛吸引誘導付刈り高調節具	
1 1	櫛部	
1 2	吸引誘導カバー	
2 0	切断具	
2 1	バリカン	
2 2	動力部	
2 3	吸引ヘッド部固定面	10
3 0	吸引力調整付継手	
3 1	ホース部	
3 2	吸引力調整具	
3 3	接続継手	
3 4	固定部	
4 0	毛屑吸引管	
4 1	毛導入口	
4 2	接続部	
4 3	刈り高寸法	
4 4	吸引方向	20
4 5	吸引部	
4 5 a	吸引ヘッド部	
4 5 b	吸引接続部	
4 5 c	角度調整部	
4 6	吸引パイプ	
4 7 a、4 7 b	装着部	
5 0	補助グリップ	
5 1 a、5 1 b	固定ねじ	
6 0	掃除機のホース	
7 0	毛	30
7 1	毛屑	

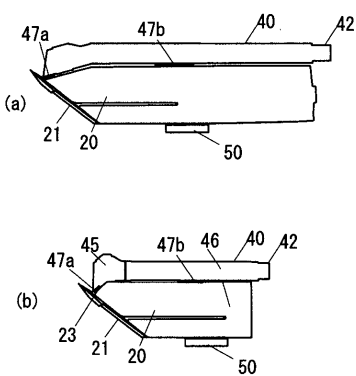
【図 1】



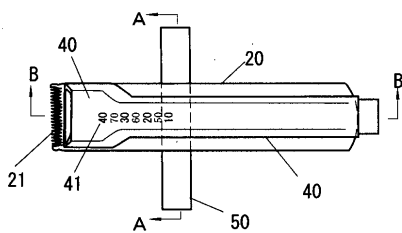
【図 2】



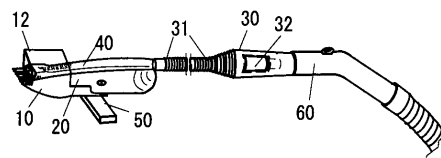
【図 5】



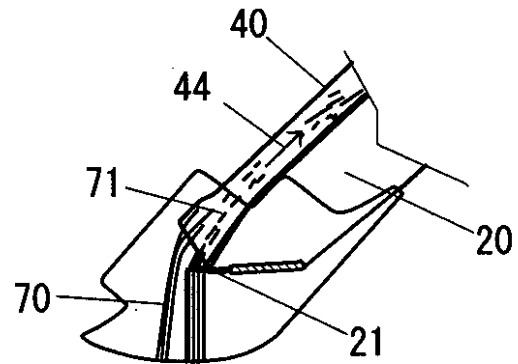
【図 6】



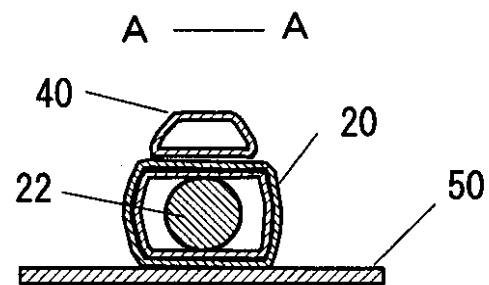
【図 3】



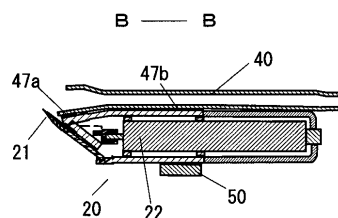
【図 4】



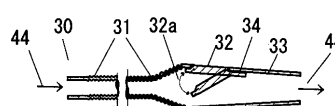
【図 7】



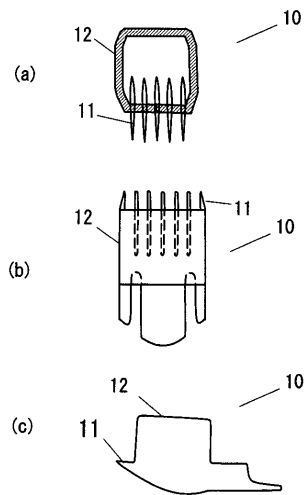
【図 8】



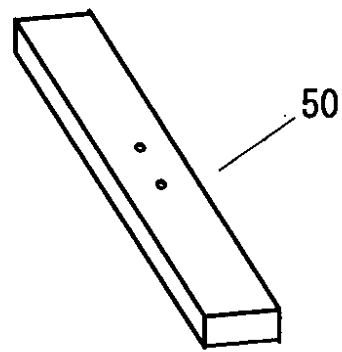
【図 9】



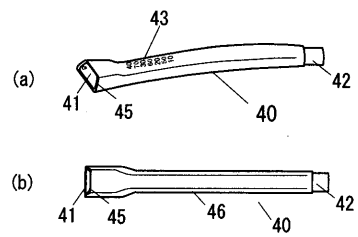
【図 10】



【図 11】



【図 12】



【図 13】

